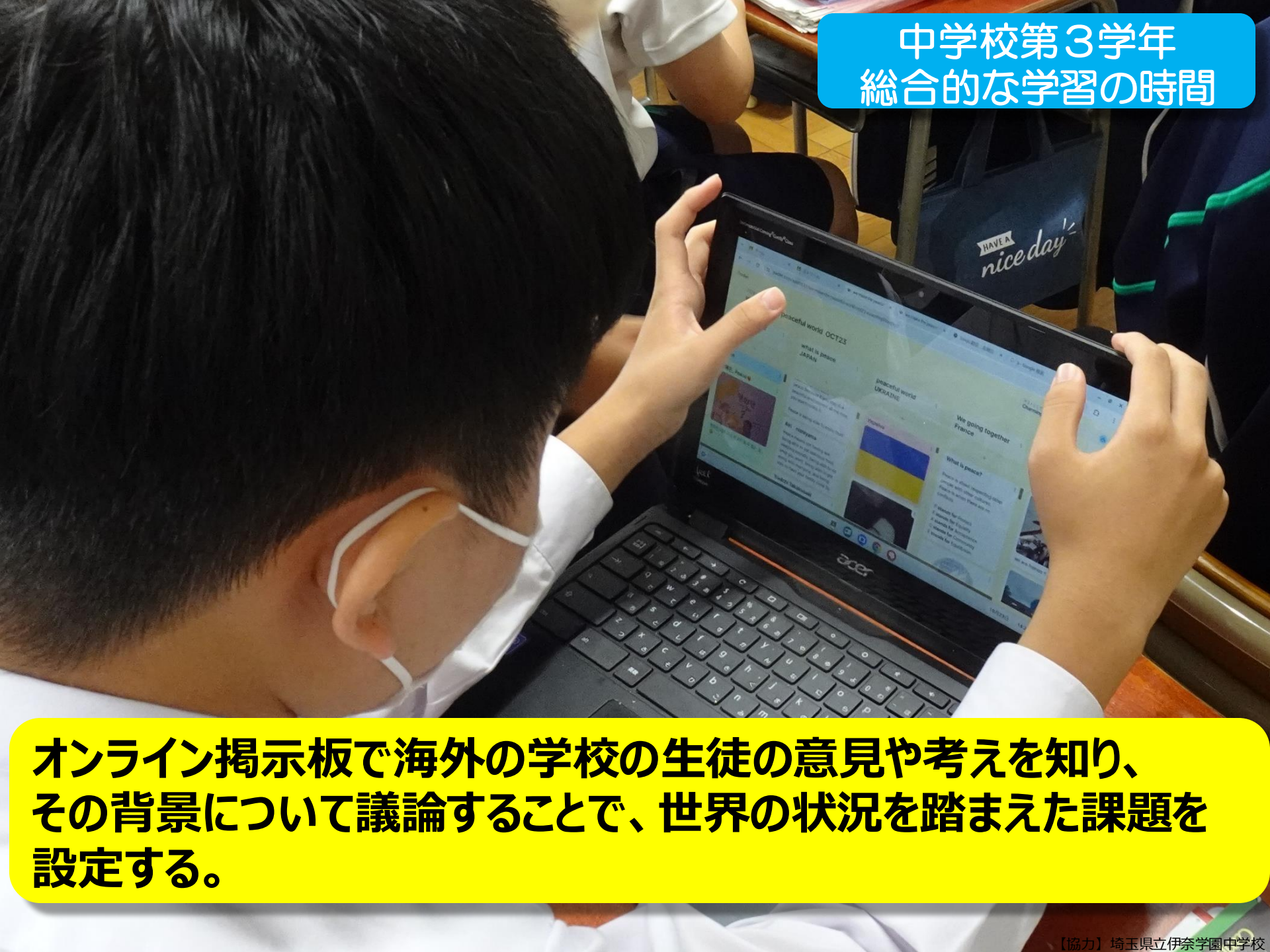

オンライン掲示板で海外の学校の生徒の意見や考えを知り、その背景について議論することで、世界の状況を踏まえた課題を設定する。

【協力】埼玉県立伊奈学園中学校

中学校第３学年　総合的な学習の時間
「平和」についての対話　We make the peaceful world

■単元の目標

平和についての探究活動を通して、平和を多様な視点で捉え、「平和な社会」の意味を理解し、自分の言葉で平和のあり方を考えるとともに、共同活動計画の作成を通じて得られた考えや気づきを自らの生活に生かしていこうとする。

■単元の概要

昨年度から継続して交流している韓国やウクライナの中学校とオンライン掲示板で平和についての考えを整理し、互いの意見やその背景について議論を深める。オンライン対話を通して「平和な社会」をつくるための行動を話し合い、活動計画を作成する。

■単元の指導計画（30時間）

第1小単元

「つながる一歩を踏み出そう」

・日本、韓国、ウクライナの生徒が自己紹介スライドを作成し、オンライン掲示板で共有する。

・オンラインで各国の教室をつなぎ、自己紹介や学校紹介を行う。

第2小単元

「平和について考えを深めよう」

・平和についての絵本を読み、「平和の意味」について自分の考えをオンライン掲示板に書き込む。

・オンラインで各国の教室をつなぎ、「平和の意味」 について多角的な視点で議論する。

第3小単元

「私たちがつくる平和な未来」

・平和な社会をつくるための具体的な活動計画を作成する。

■小単元の概要

各国の生徒が自己紹介スライドを作成し、オンライン掲示板で共有する活動を通して、互いの文化や生活への理解を深めたり、今後の学習に向けた意欲を高めたりする。

各国の生徒が絵本「平和ってどんなこと」を読み、「平和の意味」について自分の考えをオンライン掲示板に書き込む。投稿された意見を基に、オンラインで議論を行い、多角的な視点で平和について考えを深める。互いの価値観の違いや共通点を見出しながら、平和に対する理解を広げる。

オンラインで議論した内容や新たに得た視点を基に、平和な社会をつくるための具体的な活動計画を作成する。活動計画をオンライン掲示板で共有し、互いにコメントを付け合いながら計画をブラッシュアップする。

■資質・能力が育成され「深い学び」が実現している子供の姿（第２小単元）

【学習活動の場面】

各国の生徒が記入した「平和の意味」についての文章を読み、その相違や背景について議論を行った。ウクライナの生徒の記述に注目した生徒たちは、それぞれの感想を共有しながら、平和の多様な意味とその背景にある現実について考えを深めた。**教師は、「気づいたことや考えたことをクラウド上のシートに記録し、意見を共有しましょう」**と促した。

【子供の「深い学び」の姿】

各国の生徒が「平和の意味」を記したオンライン掲示板を読み、生徒Aはウクライナの生徒の書き込みに目をとめた。そこには、「平和とは家族が共に暮らせること」「大好きな街で再び暮らすことこそ、平和」と書かれていた。生徒Aは、この言葉から「平和」という概念が、戦争の影響を受けている人々にとってどれほど切実であるかを実感した。これまで「平和」とは単に「戦争がない状態」だと捉えていたが、ウクライナの生徒の記述を通じて、平和とは「当たり前の日常が守られること」であり、それを奪われる現実があることに気づいた。

これをきっかけとして、**生徒Aは「なぜこの状況が続くのか」「平和を実現するために自分にできることは何か」と考え始めた。世界中の生徒の多様な視点に触れたことで、平和を実現するための具体的な方法を模索し、自ら取り組める活動を考えるようになった。**

【当該指導での「深い学び」】

各国との対話の中から、生徒Aは「自分が考えた平和が、いかに浅はかで、表面的なものか、と気付かされた」と戸惑いながらも自分の考えを振り返る姿があった。ICTを活用した交流により、生徒Aは遠く離れた国の当事者の声を直接知ることで、より現実的な視点で問題状況を捉え、自分で取り組むことができる課題を設定することへつなげ、解決への意欲を高めることができた。

【活用したソフトや機能】Padlet（オンライン掲示板）、Zoom

■指導上の工夫とICTの利活用

①動画や写真を組み合わせた資料提示で理解を深める。

＊**各国の生徒の記述に関連した映像や写真をオンライン掲示板で共有**し、記述の背景を視覚的に理解できるようにする。

②**オンライン掲示板を活用して意見交換を行う。**

＊オンライン掲示板に生徒が自分の考えや気づきを書き込み、他者の意見を自由に閲覧・コメントできる場を提供することで、リアルタイムでの双方向的なやりとりを促進する。

③他国の生徒とのオンライン対話で互いの意見を深める。

＊Zoomを活用し、各国の生徒が直接対話できる場を設定する。事前にオンライン掲示板で各国の生徒の意見や考えを共有しておくことで、議論を深めることができるようにする。

学習指導要領や解説との関連

学習指導要領　第4章　総合的な学習の時間

第1　目標

⑵　**実社会や実生活**の中から問いを見いだし，**自分で課題を立て，情報を集め，整理・分析して，まとめ・表現する**ことができるようにする。

出典：中学校学習指導要領P159

学習指導要領解説　総合的な学習の時間編

第2章第2節　2　総合的な学習の時間で育成することを目指す資質・能力

　実社会や実生活には，解決すべき問題が多方面に広がっている。その問題は，**複合的な要素が入り組んでいて，答えが一つに定まらず，容易には解決に至らない**ことが多い。**自分で課題を立てるとは，そうした問題と向き合って，自分で取り組むべき課題を見いだすことである**。この課題は，解決を目指して学習するためのものである。その意味で課題は，**生徒が解決への意欲を高めるとともに，解決への具体的な見通しをもてる**ものであり，そのことが主体的な課題の解決につながっていく。

出典：中学校学習指導要領解説　総合的な学習の時間編　P15